【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和1年6月13日(2019.6.13)

【公表番号】特表2018-517211(P2018-517211A)
【公表日】平成30年6月28日(2018.6.28)
【年通号数】公開・登録公報2018-024
【出願番号】特願2017-561926(P2017-561926)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/02　５３０

【手続補正書】
【提出日】平成31年4月26日(2019.4.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
予め格納された情報を取得するステップ（Ｓ１１）であって、
前記予め格納された情報は、プレーンテキストである第１の情報又は暗号化された第１の情報を含み、
前記第１の情報は、設定情報と、前記設定情報に応じて生成された関連情報とを含み、
前記関連情報を生成するステップ（Ｓ１０）は：
前記設定情報から情報項目をランダムに選択するステップと；
前記選択された情報項目に対応する新しい情報項目を取得するステップであって、前記新しい情報項目の位置と前記選択された情報項目の位置との間のキーボード上での距離が予め設定された範囲内にある、前記取得するステップと；
前記関連情報を得るために、前記設定情報の中の前記選択された情報項目を前記新しい情報項目に置き換えるステップと；を有する、
前記取得するステップ（Ｓ１１）と；
照合すべき情報を受信するステップ（Ｓ１２）と；
前記予め格納された情報に従い前記照合すべき情報を照合するステップ（Ｓ１３）と；
前記照合すべき情報が前記関連情報に属する場合、再入力される照合すべき情報を受信するステップ（Ｓ１４）と；を備える、
情報入力方法。
【請求項２】
前記再入力される照合すべき情報を受信するステップの前に、ユーザに対し、前記ユーザがキーボードのキーに注意を向けるように促すために用いられるプロンプト情報を表示するステップ（Ｓ１４１）；又は、
前記再入力される照合すべき情報を受信するステップの後に、前記再入力される照合すべき情報のプレーンテキスト表示時間を延長するステップ（Ｓ１４１）；又は、
前記再入力される照合すべき情報を受信するステップの後に、前記再入力される照合すべき情報をプレーンテキストでそのまま表示するステップ（Ｓ１４１）；を更に備える、
請求項１に記載の情報入力方法。
【請求項３】

前記照合すべき情報を再度照合するステップ（Ｓ１４２）；を更に備える、
請求項２に記載の情報入力方法。
【請求項４】
前記予め格納された情報が前記暗号化された第１の情報である場合、前記予め格納された情報に従い前記照合すべき情報を照合する前記ステップは：
暗号化された照合すべき情報を取得するために、前記第１の情報と同じ暗号化アルゴリズムを用いることにより前記照合すべき情報を暗号化するステップと；
前記暗号化された照合すべき情報を前記予め格納された情報と比較するステップと；を備える、
請求項１に記載の情報入力方法。
【請求項５】
前記暗号化アルゴリズムは、ハッシュアルゴリズムである、
請求項４に記載の情報入力方法。
【請求項６】
前記予め格納された情報に従い前記照合すべき情報を照合する前記ステップの後に：
前記照合すべき情報が前記設定情報と同じである場合、前記照合が成功であると判定するステップ（Ｓ１５）；又は、
前記照合すべき情報が前記設定情報と異なり、かつ前記関連情報に属していない場合、前記照合が失敗であると判定するステップ（Ｓ１６）；を更に備える、
請求項１乃至請求項５のいずれか一項に記載の情報入力方法。
【請求項７】
予め格納された情報を取得するように構成された取得モジュールであって、
前記予め格納された情報は、プレーンテキストである第１の情報又は暗号化された第１の情報を含み、
前記第１の情報は、設定情報と、前記設定情報に応じて生成された関連情報とを含み、
前記関連情報を生成することは：
設定モジュールにより、前記設定情報から情報項目をランダムに選択することと；
前記設定モジュールにより、前記選択された情報項目に対応する新しい情報項目を取得することであって、前記新しい情報項目の位置と前記選択された情報項目の位置との間のキーボード上での距離が予め設定された範囲内にある、前記取得することと；
前記設定モジュールにより、記関連情報を得るために、前記設定情報の中の前記選択された情報項目を前記新しい情報項目に置き換えることと；を含む、
前記取得モジュールと；
照合すべき情報を受信するように構成された第１の受信モジュールと；
前記予め格納された情報に従い前記照合すべき情報を照合するように構成された照合モジュールと；
前記照合すべき情報が前記関連情報に属する場合、再入力される照合すべき情報を受信するように構成された第２の受信モジュールと；を備える、
情報入力装置。
【請求項８】
前記第２の受信モジュールは：
前記再入力される照合すべき情報が受信される前に、ユーザに対し、前記ユーザがキーボードのキーに注意を向けるように促すために用いられるプロンプト情報を表示する；又は、
前記再入力される照合すべき情報が受信された後に、前記再入力される照合すべき情報のプレーンテキスト表示時間を延長する；又は、
前記再入力される照合すべき情報が受信された後に、前記再入力される照合すべき情報をプレーンテキストでそのまま表示する；ように更に構成された、
請求項７に記載の情報入力装置。

【請求項９】
前記第２の受信モジュールは、前記照合すべき情報を再度照合するように更に構成された、
請求項８に記載の情報入力装置。
【請求項１０】
前記予め格納された情報が前記暗号化された第１の情報である場合、前記照合モジュールは、具体的に：
暗号化された照合すべき情報を取得するために、前記第１の情報と同じ暗号化アルゴリズムを用いることにより前記照合すべき情報を暗号化し；
前記暗号化された照合すべき情報を前記予め格納された情報と比較する；ように構成された、
請求項７に記載の情報入力装置。
【請求項１１】
前記照合すべき情報が前記設定情報と同じである場合、前記照合が成功であると判定する；又は、
前記照合すべき情報が前記設定情報と異なり、かつ前記関連情報に属していない場合、前記照合が失敗であると判定する；ように構成された判定モジュールを更に備える、
請求項７乃至請求項１０のいずれか一項に記載の情報入力装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６８】
以上、本願の実施の形態を示し説明したが、上記の実施の形態は例示であって、本願を限定するものではなく、当業者であれば、本願の範囲内において実施の形態に変更、変形、代替、及び改変を行うことができる。
［第１の局面］
情報入力方法であって：
予め格納された情報を取得するステップであって、前記予め格納された情報はプレーンテキストである第１の情報又は暗号化された第１の情報を含み、前記第１の情報は、設定情報と、前記設定情報に応じて生成された関連情報とを含む、取得するステップと；
照合すべき情報を受信するステップと；
前記予め格納された情報に従い前記照合すべき情報を照合するステップと；
前記照合すべき情報が前記関連情報に属する場合、再入力される照合すべき情報を受信するステップと；を備える、
情報入力方法。
［第２の局面］
前記再入力される照合すべき情報を受信するステップの前に、ユーザに対し、前記ユーザがキーボードのキーに注意を向けるように促すために用いられるプロンプト情報を表示するステップ；又は、
前記再入力される照合すべき情報を受信するステップの後に、前記再入力される照合すべき情報のプレーンテキスト表示時間を延長するステップ；又は、
前記再入力される照合すべき情報を受信するステップの後に、前記再入力される照合すべき情報をプレーンテキストでそのまま表示するステップ；を更に備える、
第１の局面に記載の方法。
［第３の局面］
前記設定情報に応じて関連情報を生成するステップを更に備え、
前記設定情報に応じて関連情報を生成する前記ステップが：
前記設定情報から情報項目をランダムに選択し、前記選択された情報項目に対応する新

しい情報項目を取得するステップであって、前記新しい情報項目の位置と前記選択された情報項目の位置との間のキーボード上での距離が予め設定された範囲内にある、取得するステップと；
前記設定情報の中の前記選択された情報項目を前記新しい情報項目に置き換えて前記関連情報を得るステップと；を備える、
第１の局面に記載の方法。
［第４の局面］
前記予め格納された情報が前記暗号化された第１の情報である場合、前記予め格納された情報に従い前記照合すべき情報を照合する前記ステップが：
前記第１の情報と同じ暗号化アルゴリズムを用いることにより前記照合すべき情報を暗号化して暗号化された照合すべき情報を得るステップと；
前記暗号化された照合すべき情報を前記予め格納された情報と比較するステップと；を備える、
第１の局面に記載の方法。
［第５の局面］
前記暗号化アルゴリズムがハッシュアルゴリズムである、
第４の局面に記載の方法。
［第６の局面］
前記予め格納された情報に従い前記照合すべき情報を照合する前記ステップの後に：
前記照合すべき情報が前記設定情報と同じである場合、前記照合が成功であると判定するステップ；又は、
前記照合すべき情報が前記設定情報と異なり、かつ前記関連情報に属していない場合、前記照合が失敗であると判定するステップ；を更に備える、
第１の局面乃至第５の局面のいずれか一項に記載の方法。
［第７の局面］
情報入力装置であって：
予め格納された情報を取得するように構成された取得モジュールであって、前記予め格納された情報は、プレーンテキストである第１の情報又は暗号化された第１の情報を含み、前記第１の情報は、設定情報と、前記設定情報に応じて生成された関連情報とを含む、取得モジュールと；
照合すべき情報を受信するように構成された第１の受信モジュールと；
前記予め格納された情報に従い前記照合すべき情報を照合するように構成された照合モジュールと；
前記照合すべき情報が前記関連情報に属する場合、再入力される照合すべき情報を受信するように構成された第２の受信モジュールと；を備える、
情報入力装置。
［第８の局面］
前記第２の受信モジュールが：
前記再入力される照合すべき情報が受信される前に、ユーザに対し、前記ユーザがキーボードのキーに注意を向けるように促すために用いられるプロンプト情報を表示する；又は、
前記再入力される照合すべき情報が受信された後に、前記再入力される照合すべき情報のプレーンテキスト表示時間を延長する；又は、
前記再入力される照合すべき情報が受信された後に、前記再入力される照合すべき情報をプレーンテキストでそのまま表示する；ように更に構成された、
第７の局面に記載の装置。
［第９の局面］
前記設定情報から情報項目をランダムに選択し、前記選択された情報項目に対応する新しい情報項目を取得するように構成され、前記新しい情報項目の位置と前記選択された情報項目の位置との間のキーボード上での距離が予め設定された範囲内にあり；

前記設定情報の中の前記選択された情報項目を前記新しい情報項目に置き換えて前記関連情報を得る；ように構成された設定モジュールを更に備える、
第７の局面に記載の装置。
［第１０の局面］
前記予め格納された情報が前記暗号化された第１の情報である場合、前記照合モジュールは、具体的に：
前記第１の情報と同じ暗号化アルゴリズムを用いることにより前記照合すべき情報を暗号化して暗号化された照合すべき情報を取得し；
前記暗号化された照合すべき情報を前記予め格納された情報と比較する；ように構成された、
第７の局面に記載の装置。
［第１１の局面］
前記照合すべき情報が前記設定情報と同じである場合、前記照合が成功であると判定する；又は、
前記照合すべき情報が前記設定情報と異なり、かつ前記関連情報に属していない場合、前記照合が失敗であると判定する；ように構成された判定モジュールを更に備える、
第７の局面乃至第１０の局面のいずれか一項に記載の装置。